

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390100267
事業所名	グループホーム 咲花唐山

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、回覧板を通じて地域情報を収集している。地域の清掃に職員が参加し、地域住民と草刈りや溝掃除を行い協力関係を深めた。住民から紙おむつ等の介護用品の提供があったり、利用者は散歩時に住民と挨拶や会話を交わす等の日常的な繋がりを深めている。また住民がどんな施設か尋ねに来た際には介護相談やアドバイスをして高齢者認知症専門施設としての役割を果たしている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は包括職員、近隣住民、家族を構成員とし、年6回定期開催している。会議では運営報告、地域情報交換、意見交換の場として活発に意見交換できる場として活かされている。今年度はコロナ対策の下、通常会議を実施して相互の協働関係継続に努めた。会議の意見は職員に議事録を回覧し、サービス反映して運営改善に繋げている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 区介護課窓口には、医療費や介護費等の制度の確認や相談に出向き直接話をする機会を作り、協働関係を深めている。市町村主催の研修案内が届き、職員に回覧して研修参加を促している。区同業事業者の連絡協議会の一員となり、他事業者と情報交換し交流を図っている。区保健センターとはコロナ感染での報告、相談、指示やアドバイスをもらい連携を図った。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 意見箱を設置し、利用者や家族の意見や要望を受け止める仕組みがある。利用者家族の同意の下、ホームページに日常の様子を写真で掲示している他、個人向けのお便りを発送している。何かあれば都度電話やメールをして様子を伝え、家族の意見や要望は細目に確認し支援に反映するように努めている。コロナ禍でも感染対策を徹底し面会を実現し、家族と利用者の関係が途切れない様に支援している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価									○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	◎								